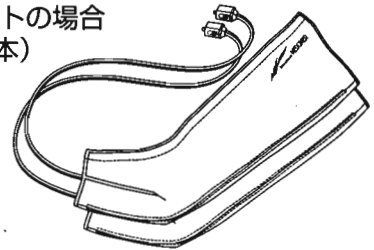
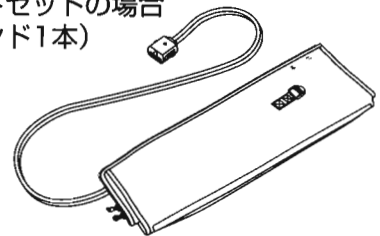
機械器具77　バイブレーター　管理医療機器
家庭用エアマッサージ器（34663000）

取扱説明書

エクセレントメドマー　EXM-12000

使用前に必ずこの取扱説明書を読んでください。

この取扱説明書は必要なときに読めるよう、大切に保管してください。

医療機器認証番号
218AHBZX00011000

目次

表示マークの意味 ……… 1
使用上の注意 ……… 1〜3
効能・効果 ……… 3
本機の特徴 ……… 3
各部の名称 ……… 4
使用の手順 ……… 5〜12
お手入と保管 ……… 13
ブーツまたはアームバンドおよび本体の廃棄方法 ……… 13
別売品のご案内 ……… 13
定期点検のお願い ……… 14
故障と思ったとき ……… 14
仕　様 ……… 15
保証・サービスについて ……… 15

この取扱説明書に表示してあるマークの意味を十分に理解の上、本文を読んでください。

(1) 危害・損害の程度

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される場合。

(2) 絵表示

禁止	🛇	禁止を表します
	🛇	水場での使用禁止を表します
	🛇	分解禁止を表します

強制	❗	必ずしていただきたいことを表します
		電源プラグを電源コンセントから抜けを表します

⚠ 警告

● **次の人は、本機の使用を禁止します。**

・医師からマッサージを禁じられている人。
　(例：血栓(塞栓)症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症［皮下組織の炎症を含む］など)

・発症後6ヶ月以内の下肢深部静脈血栓症を患っているか、もしくはその恐れのある場合。
　※「下肢深部静脈血栓症」とは、下肢全体または膝より下が腫れ上がって痛みがあり、立ったり歩いたりすると痛みが強くなる自覚症状のあることをいいます。

・装着部におでき、やけど、虫さされなどの急性炎症や化膿性疾患がある場合。

● **本機の改造、分解、修理は絶対にしないでください。事故の原因になります。**

⚠ 注意

● **次の人は必ず医師と相談のうえ使用してください。症状や病因によっては使用に適さない場合があります。**

・ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み形医用電気機器を使用している人
・心臓に障害がある人
・高血圧症と診断されている人
・悪性しゅよう(腫瘍)のある人
・糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
・体温38℃以上(有熱期)の人
　(例：急性炎症症状［けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など］の強い時期。衰弱している時)
・骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、急性［とう(疼)痛性］疾患の人
・妊娠初期の不安定期または、出産直後の人
・安静を必要とする人
・特に身体に異常を感じている人
・皮膚の弱い人
・施療部位に疾患から生じるむくみや疼痛のある人
・施療部位に骨折、脱きゅう、肉ばなれ、ねんざ、創傷のある人
・上記以外の疾患で医師の治療を受けている人
・自覚症状の意思表示ができない人
・本機の使用によりかえって疼痛の増す人
・本機を使用しても症状の改善が見られない人

（1）使用中の注意

- 子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。事故につながることがあります。
- 身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師と相談してください。使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。
- 他の治療器と同時に使用しないでください。本機の効果が十分発揮できないばかりか、身体に悪影響を及ぼす原因になります。
- 30分を超えての使用はしないでください。筋肉に対して必要以上の刺激となります。また、次の使用までには少なくとも3時間以上の間隔をあけてください。
- 通常、圧力設定は「6」以下で使用してください。特にお肌の弱い方は、圧迫痕が残ることがあります。
- 高齢者の方はハイパーモードで使用しないでください。また、圧力設定は「6」以下で使用してください。事故につながることがあります。
- 本体は使用中、操作できる所に置いてください。事故につながることがあります。
- 自分で意思表示できない人に使わせないでください。事故につながることがあります。
- 使用中に立ち上がったり、歩いたりしないでください。事故につながることがあります。
- 使用前に必ず圧力設定を「1」に設定してください。事故につながることがあります。
- 使用中にブーツ（アームバンド）の加圧・除圧に異常を感じた場合（加圧が異常に長い、または、除圧しない等）は、すぐに本体のエアーソケットからエアープラグを抜き、ブーツ（アームバンド）を脚（腕）から外してください。また、本体は電源スイッチを「O」（OFF）にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。この場合には、「使用の手順」にしたがって、電源プラグを電源コンセントに差し込むところから始めてください。それでもなお異常がある場合には、お求めの販売店に点検を依頼してください。
- 治療目的以外には使用しないでください。
- ブーツとアームバンドを同時に使用しないでください。事故につながることがあります。
- アームバンドは2本同時（両腕）に使用しないでください。事故につながることがあります。

（2）使用場所についての注意

- ストーブなどの火気の近くで使用しないでください。火災・故障の原因になります。
- 浴室など湿気の多い場所で使用しないでください。故障・感電・火災の原因になります。
- マイクロ波治療器のアプリケータからは1.5メートル以上離してご使用ください。
  安全装置が作動し、自動停止することがあります。

（3）本体についての注意

- 電源プラグは商用AC100V電源コンセントにつないで使用してください。AC100V以外で使用すると正しく作動しなかったり、火災や感電の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
- テーブルタップなどを使用した“タコ足配線”をしないでください。電源プラグや電源コードが熱くなり、火災や故障の原因になります。
- 本体に水などをかけないでください。感電や故障の原因になります。
- 使用中に停電した場合は、直ちに電源スイッチを「O」（OFF）にして、電源プラグを電源コンセントから抜き、エアープラグをエアーソケットから抜いてください。事故につながることがあります。
- 本体に衝撃を与えないように、落としたり、倒したり、蹴ったりしないでください。故障の原因になります。
- 本体にはタオルや布地等を被せないでください。本体が過熱し、火災や感電の原因になります。
- 本体の上に物を載せないでください。本体が過熱し、故障の原因になります。また、振動の原因になります。
- 本体を倒したり、傾けた状態で使用しないでください。故障の原因になります。
- 本体を踏み台にしたり、上に載ったりしないでください。事故につながることがあります。
- 本機に異常（発煙、手でさわれないほど熱い、音が急に大きくなった等）を感じたときは、直ちに使用を中止し電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店に連絡してください。使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、電源コードを持って引き抜かないでください。また、電源コードを無理に曲げたり、重いものを載せないでください。電源コードが断線し、火災や感電の原因になります。
- 使用後は、電源スイッチを「O」（OFF）にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。事故につながることがあります。
- 本体を保管するときは、電源コードを本体にまかないでください。電源コードの接続部が断線し、火災や感電の原因になります。
- 電源コードが破損した場合は、お求めの販売店に電源コードの交換を依頼してください。

(4) ホースおよびブーツ（アームバンド）についての注意

- ホースおよびブーツ（アームバンド）は折り曲げたり、重い物を載せたりした状態で保管しないでください。ホースに折れや潰れ癖がつくと、加圧・除圧が正常に行われず身体に悪影響を及ぼす原因になります。また、ホースおよびブーツ（アームバンド）内にあるケーブルの断線の原因なります。
- ブーツは脚に、アームバンドは腕に装着してください。正しい部位に装着されていない場合は、身体に悪影響を及ぼしたり、事故の原因になります。
- 針や刃物でホースやブーツ（アームバンド）に傷を付けないでください。事故や故障の原因になります。
- ブーツを装着するときは、ズボンのポケットなどに物が入っていないことを確かめてください。脚をけがしたり、ブーツの破損の原因になります。
- アームバンドを装着するときは、腕時計や指輪などを身につけていないことを確かめてください。腕をけがしたり、アームバンドの破損の原因になります。
- ブーツ（アームバンド）は踏みつけたり投げたりしないでください。ブーツ（アームバンド）内部に取付られている電磁弁により足裏を負傷したり、電磁弁やブーツ（アームバンド）破損の原因になります。
- ホースは折れたり潰れたりした状態で使用しないでください。加圧・除圧が正常に行われず身体に悪影響を及ぼす原因になります。
- 使用中にブーツ（アームバンド）のファスナーが開く場合は、ファスナーの破損です。皮膚や衣類等をはさむ恐れがありますので、すぐに使用を中止してください。
- 使用前に縫製品の破れの有無を点検し、破れがあるときは使用を中止してください。
- 別売のブーツまたはアームバンド以外は使用しないでください。
- メーカー点検用ファスナー（ブーツ（アームバンド）背面のファスナー）は開けないでください。

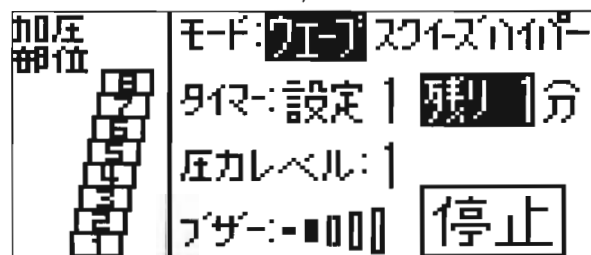
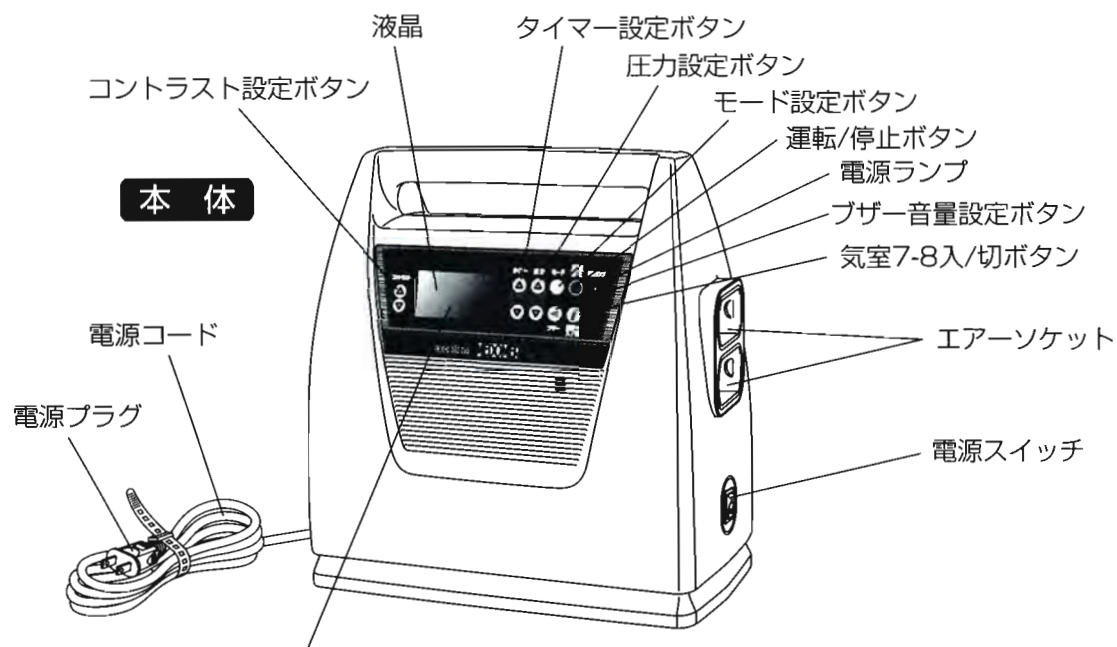
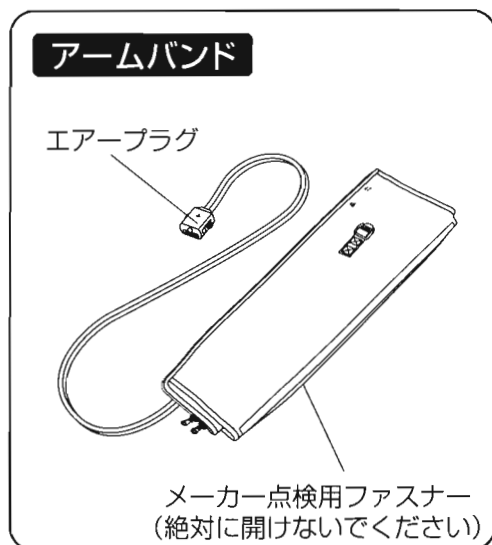
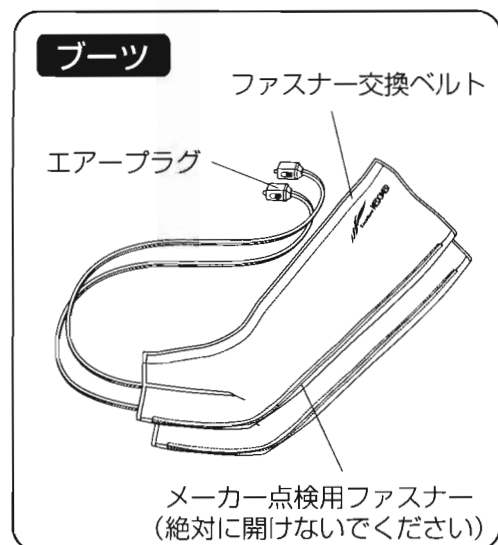
1. 末梢静脈やリンパ循環の主な原動力は、上下肢の筋肉群で、この筋肉の収縮によるポンプ作用と弁機構が密接に関連して循環が行われます。本機は空気室に加圧、除圧を繰返すことにより、筋肉の収縮・弛緩の場合と同じような作用をして、リンパ液と静脈血の環流を促進します。

2. 効能・効果
- 血行促進
- 疲労回復
- 筋肉の疲れ、こりをほぐす

- ソフトな空気圧によるマッサージなので、局部的な痛みや電気的な刺激がなく、足先から太もも、または、指先から上腕までまんべんなくもみ上げます。
- ブーツ（アームバンド）は8つの気室がバランスよく重なり合っているため、もみむらがなく効果的なマッサージができます。
- マッサージのパターンは3種類から選択できます。
- マッサージの強さは10段階から設定できます。また、マイコンで制御しているので脚や腕の太さに関係なく強さは一定です。
- 使用時間はタイマーで最大30分まで1分毎に設定できます。
- ホースの着脱はワンタッチ方式なため容易です。
- 体型に合わせて、ブーツ（アームバンド）の長さは3段階に調節できます。

本 体

液晶
タイマー設定ボタン
圧力設定ボタン
コントラスト設定ボタン
モード設定ボタン
運転/停止ボタン
電源ランプ
ブザー音量設定ボタン
気室7-8入/切ボタン
エアーソケット
電源コード
電源プラグ
電源スイッチ

加圧部位 8 7 6 5 4 3 2 1
モード:ウェーブ スクイーズ ハイパー
タイマー:設定 1 残り 1分
圧力レベル:1
ブザー:-■□□□ 停止

液晶表示

⚠ 注意

- 操作ボタン（タイマー、圧力、運転/停止、ブザー、気室7-8入/切、コントラスト）および電源スイッチが正常に動作することを確認してください。
- すべてのコード（電源プラグ、エアープラグ）は正しく確実に接続してください。
- 使用中に立ち上がったり、歩いたりしないでください。事故につながることがあります。
- ブーツを装着するときは、ズボンのポケットなどに物が入っていないことを確かめてください。脚をけがしたり、ブーツの破損の原因になります。
- アームバンドを装着するときは、腕時計や指輪などを身につけていない事を確かめてください。腕をけがしたり、アームバンドの破損の原因になります。
- ブーツは脚に、アームバンドは腕に装着してください。正しい部位に装着されていない場合は、身体に悪影響を及ぼしたり、事故の原因になります。
- 使用中にブーツ（アームバンド）のファスナーが開く場合は、ファスナーの破損です。皮膚や衣類等をはさむ恐れがありますので、すぐに使用を中止してください。
- 使用前に必ず圧力設定を「1」に設定してください。事故につながることがあります。
- 使用後は、電源スイッチを「0」(OFF)にして、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。事故につながることがあります。
- 30分を超えての使用はしないでください。筋肉に対して必要以上の刺激となります。また、次の使用までには少なくとも3時間以上の間隔をあけてください。
- 通常、圧力設定は「6」以下で使用してください。特にお肌の弱い方は、圧迫痕が残ることがあります。
- 本体は使用中、操作できる所に置いてください。事故につながることがあります。

初めて使用する場合、またはしばらく使用しなかった場合は、本機が正常に作動することを、「使用の手順」に従って確認してください。特に次のことを注意して確認してください。

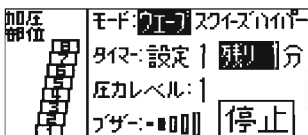
1.運転/停止ボタンで「運転」、「停止」を確実に行うことができますか。
2.加圧・除圧が正しい順番で行われていますか。
3.タイマーの設定時間で停止しますか。
4.圧力設定ボタンで圧力の変更は正しく行われていますか。

1. 電源プラグを電源コンセントAC100Vに差し込みます。

3. 電源スイッチを「1」(ON) にします。
電源ランプが点灯します。

電源スイッチを「0」(OFF)から「1」(ON)にしたときは、圧力レベル：1、気室7-8入/切：7と8「入」になります。また、コントラスト、モード、ブザーは設定が記憶されるため、直前の使用時の状態になっています。

2. ブーツ(アームバンド)のエアープラグを本体のエアーソケットに接続します。
エアープラグのツメが「カチッ」というまで奥に差し込みます。

注）片足だけで使用する場合は、使用するブーツのエアープラグだけを本体のエアーソケットに接続してください。

4. 液晶のコントラストをコントラスト設定ボタンで調節します。
コントラスト設定ボタン △ を押すと濃く、▽ を押すと薄くなります。また、コントラストボタンの長押しで高速変化します。

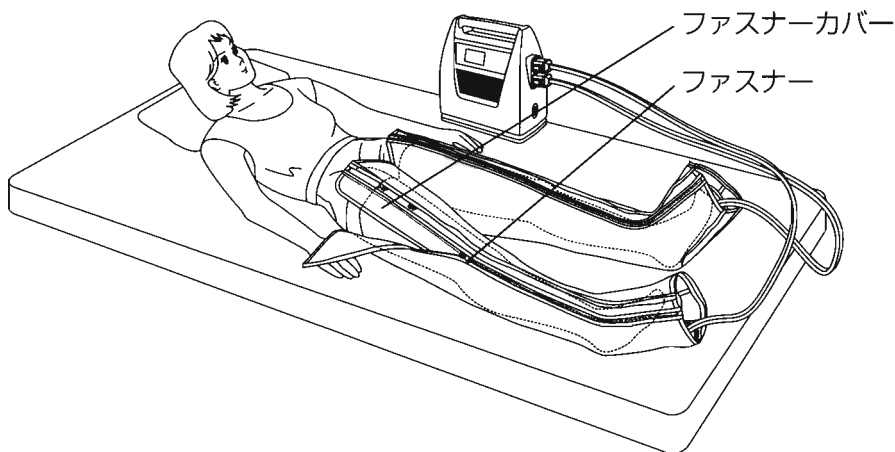
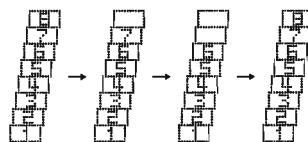
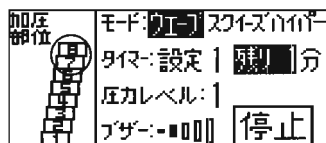
注）設定は記憶されます。

コントラスト

コントラスト設定ボタン

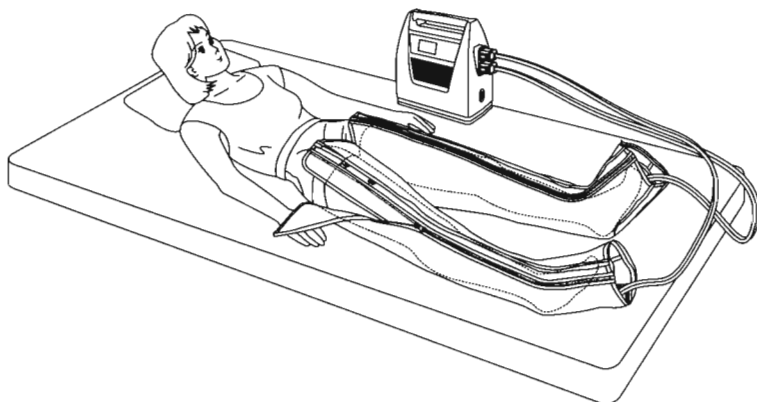
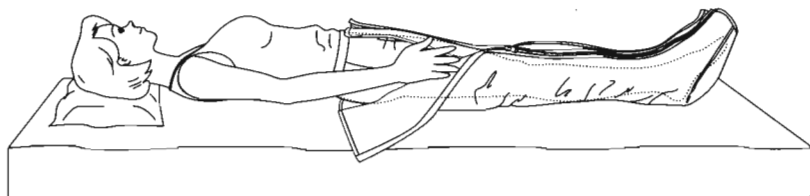
5. ブーツを脚にまたはアームバンドを腕に装着します。

ブーツを使用する場合

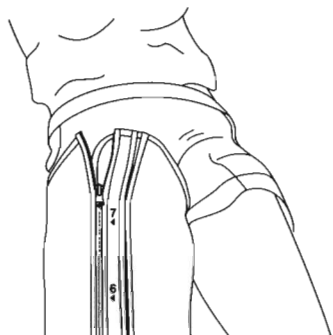
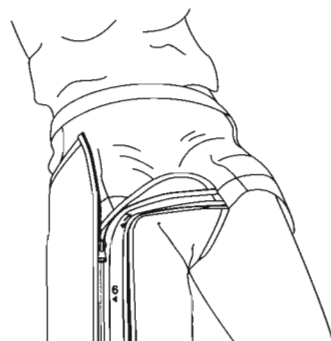
◆ブーツの底にかかとがつくように、深くはいてください。
ブーツを装着するときは、ファスナーが直接脚に触れないように
ファスナーの裏側に付いているファスナーカバーを脚の上にかぶ
せてから、ファスナーを閉めてください。
皮膚やストッキング、ズボン等をはさむ恐れがあります。

◆気室7-8入／切はブーツの長さ調節として使用します。
ブーツが長すぎる方は、気室7-8入／切ボタンを押して
ください。ボタンを押すごとに液晶の⑧が消灯→⑦と⑧
が消灯→⑦と⑧が点灯の順で切り換わります。ランプが
消灯している気室は加圧されません。
運転中に気室7-8入／切ボタンを押した場合、除圧を行
った後（このとき液晶の運転が点滅する）変更された気
室で運転が再開されます。

気室数の説明

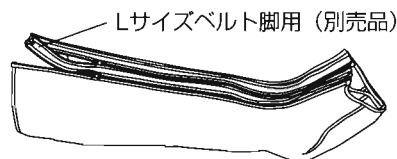
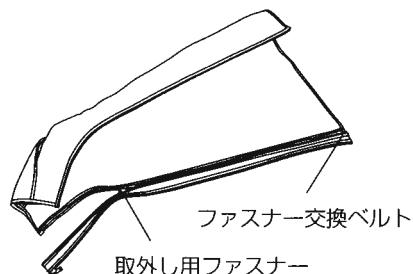
気室7-8入／切	液晶表示	加圧気室数
気室7-8入		8気室
気室8切		7気室
気室7-8切		6気室

◆ブーツの長さ調節は次のように行ってください。

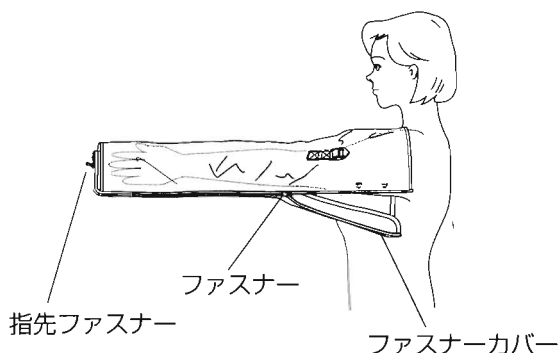
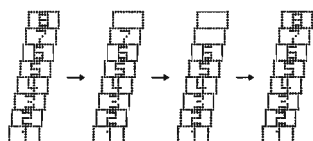
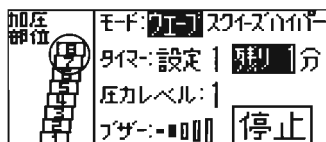
1.ブーツの底にかかとがつくように、深くはきファスナーを半分ほど閉めます。

2.このとき長すぎる部分はおしりの下に敷くようにします。

3.ファスナーを股下まで閉めます。

ファスナーがファスナー交換ベルトの印7◀より上にあれば気室7-8入／切ボタンで気室を7室に設定します。

印7◀と印6◀の間にあれば気室7-8入／切ボタンで気室を6室に設定します。

※気室を7室に設定した場合は印7◀より下にファスナーを止めないでください。
ファスナーが破損することがあります。

※気室を6室に設定した場合は印6◀より下にファスナーを止めないでください。
ファスナーが破損することがあります。

※ブーツを小さく感じる方は、Lサイズベルト脚用（別売品）をお求めください。
ブーツが小さいとマッサージの効果が十分発揮できない場合があります。

※ファスナーが破損したとき（「ファスナー交換ベルト」の交換方法）
ブーツは、ファスナーが破損すると、気室に異常がなくても使用できません。このようなときは、破損した「ファスナー交換ベルト」を新品の「ファスナー交換ベルト」（別売品）に交換してください。「ファスナー交換ベルト」には、「取外し用のファスナー」がブーツの内側にあります。ブーツを開いた状態にして、破損した「ファスナー交換ベルト」を取外し、新品の「ファスナー交換ベルト」を取付けてください。

注）「ファスナー交換ベルト」を交換するとき以外は、「取外し用のファスナー」を使用しないでください。

アームバンドを使用する場合

◆アームバンドは指先ファスナーが閉じているときはファスナーに当たらない程度に、指先ファスナーが開いているときは、指先がはみ出さない程度に深く装着してください。また、ファスナーが直接腕に触れないように、ファスナーの裏側に付いているファスナーカバーが腕とファスナーの間にあることを確認しながら、ファスナーを閉めてください。皮膚や衣類等をはさむ恐れがあります。

◆気室7-8入／切はアームバンドの長さ調節として使用します。
アームバンドが長すぎる方は、気室7-8入／切ボタンを押してください。ボタンを押すごとに液晶の⑧が消灯→⑦と⑧が消灯→⑦と⑧が点灯の順で切り換わります。ランプが消灯している気室は加圧されません。
運転中に気室7-8入／切ボタンを押した場合、除圧を行った後（このとき液晶の運転が点滅する）変更された気室で運転が再開されます。

⚠ 注意

- ブーツとアームバンドは同時に使用しないでください。 事故につながることがあります。 ⃠
- アームバンドは2本同時(両腕)に使用しないでください。 事故につながることがあります。 ⃠

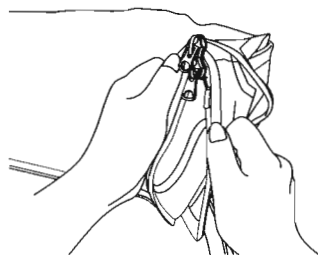
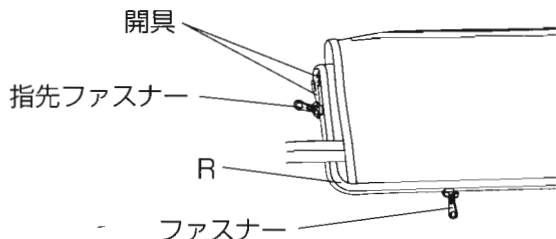
気室数の説明

気室7-8入／切	液晶表示	加圧気室数
気室7-8入		8気室
気室8切		7気室
気室7-8切		6気室

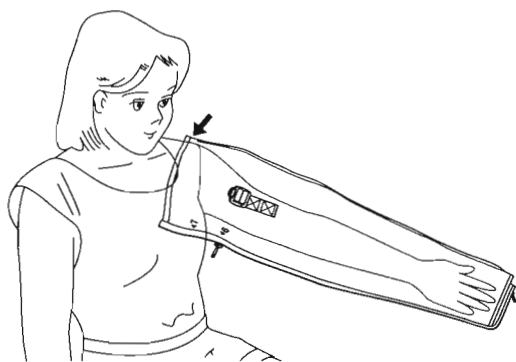
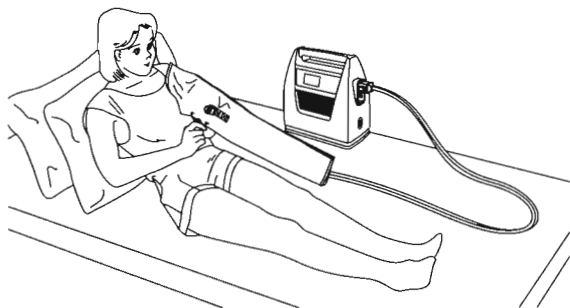
◆ファスナーの開閉について。

指先ファスナーを用いると、指先部分のみの開閉ができます。

・指先まで圧迫力を加えたい場合は指先ファスナーを閉じてください。
※指先ファスナーはR部まで開かないでください。
　ファスナーが破損することがあります。

・外れたファスナーをはめるときは、ファスナーを2つとも指先側に寄せ、左右の開具を噛み合わせてください。

◆アームバンドの長さ調節は次のように行ってください。

1.ファスナーを半分ほど閉めてから、指先ファスナーが閉じているときはファスナーに当たらない程度に、指先ファスナーが開いているときは、指先がはみ出さない程度に深く装着してください。

2.このとき長すぎる部分は肩を覆うようにします。

3.ファスナーを脇の下まで閉めます。

ファスナーがアームバンドの印◀7より上にあれば気室7-8入／切ボタンで気室を7室に設定します。

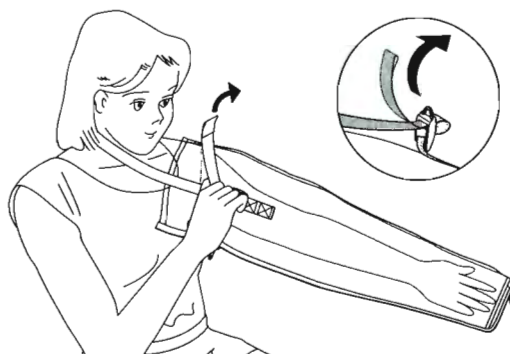
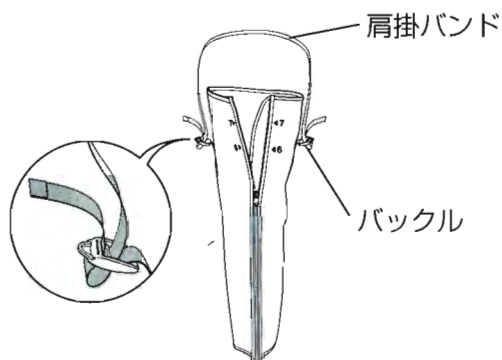
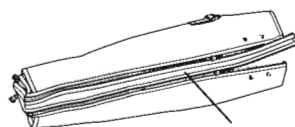
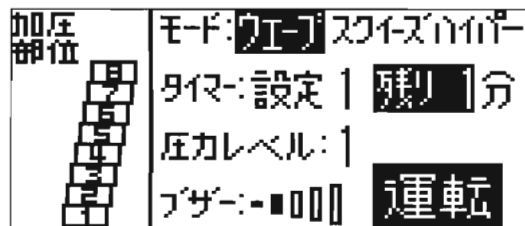
※気室を7室に設定した場合は印◀7より下にファスナーを止めないでください。
ファスナーが破損することがあります。

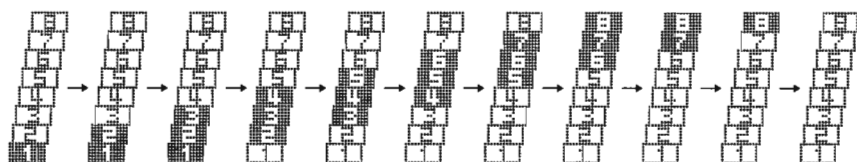
印◀7と印◀6の間にあれば気室7-8入／切ボタンで気室を6室に設定します。

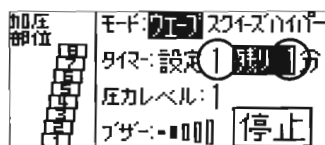
※気室を6室に設定した場合は印◀6より下にファスナーを止めないでください。
ファスナーが破損することがあります。

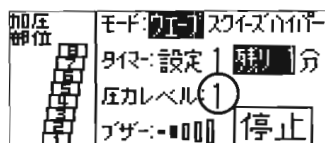
※使用中にアームバンドがズレ落ちる場合は付属の肩掛バンドを使用してください。

付属の肩掛バンドをバックルに通し、取付けます。

アームバンドを装着し肩掛バンドの端を引いて長さを調節します。

※アームバンドを小さく感じる方は、Lサイズベルト腕用（別売品）をお求めください。
　アームバンドが小さいとマッサージの効果が十分発揮できない場合があります。

6. 運転/停止ボタンを押して、運転・停止ができるかの作動テストを行います。
運転/停止ボタンを押す毎に、運転と停止が交互に切り換わり液晶で表示されます。
運転中はポンプが作動します。

運転/停止ボタン

次に加圧・除圧の順番をウェーブモードで確認します。
ウェーブモードは下図（液晶でもアニメーションで表示されています）のように足先から太もも（指先から上腕）に向って部分的に加圧・除圧します。順番通りに加圧・除圧が繰り返されているか確認してください。
完了したら、運転/停止ボタンを押して停止させます。

7. タイマー、圧力、モード、ブザー、気室7-8入/切を設定します。

◆ タイマーは1～30分まで1分毎に設定できます。タイマー設定ボタン△を押すと長くなる方向に、▽を押すと短くなる方向に切り換わり、液晶で表示されます。
また、1秒以上長く押すと5分毎に切り換わります。
但し、運転中は操作できません。

タイマー設定ボタン

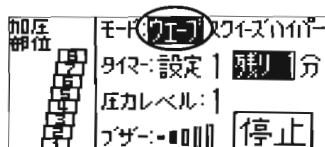
◆ 圧力は10段階から設定します。
圧力設定ボタン△を押すと強くなる方向に、▽を押すと弱くなる方向に切り換わり、液晶で表示されます。
運転中に圧力設定の変更を行った場合、除圧後（このとき液晶の運転が点滅する）変更された設定圧力で運転が再開されます。

圧力設定ボタン

⚠ 注意

- 使用前には、必ず圧力設定を「1」に設定してください。事故につながる恐れがあります。
- 通常、圧力設定は「6」以下で使用してください。特にお肌の弱い方は、圧迫痕が残ることがあります。
- 高齢者の方は、ハイパーモードで使用しないでください。また、圧力設定は「6」以下で使用してください。事故につながることがあります。

圧力レベル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気室圧力kPa (mmHg)	3.0 (22.5)	3.9 (29.3)	4.8 (36.0)	5.7 (42.8)	6.6 (49.5)	7.4 (55.5)	8.3 (62.3)	9.2 (69.0)	10.1 (75.8)	11.0 (82.5)

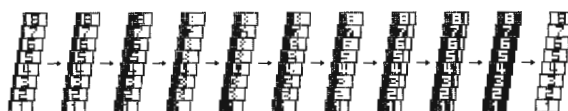
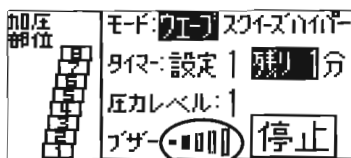
注）気室圧力は参考値です。

◆ モードはウェーブ、スクイーズ、ハイパーの3種類があります。モード設定ボタンを押すごとにモードが切り換わり液晶で表示されます。
運転中にモードの変更を行った場合、除圧後（このとき液晶の運転が点滅する）変更されたモードで運転が再開されます。　注）設定は記憶されます。

モード設定ボタン

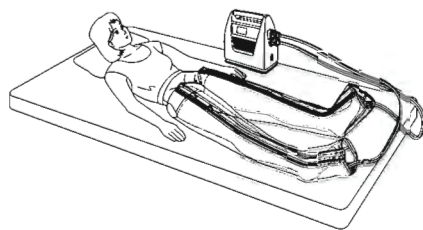
モードの説明（液晶でもアニメーション表示されます）

ウェーブ：足先から太もも（指先から上腕）に向って部分的に加圧します。

スクイーズ：足先から太もも（指先から上腕）に向って順番に加圧し、全室一気に除圧します。

ハイパー：全室一気に加圧し、全室一気に除圧します。

◆ ブザーの音量は5段階から設定します。
ブザーボタンを押す -▪▯▯▯ -▪▮▯▯ -▪▮▮▯ -▪▮▮▮ -▫▯▯▯ ごとにの順番で切り換わり、液晶で表示されます。
-▫▯▯▯ は無音です。
注）設定は記憶されます。

ブザー音量設定ボタン

8. これで準備完了です。
椅子やソファーを使ったり、横になるなど楽な姿勢で行ってください。また、本体は手で操作できるところに置いてください。

※ヒザまたはヒジは伸ばした状態でご使用ください。加圧されない場合があります。

⚠ 注意

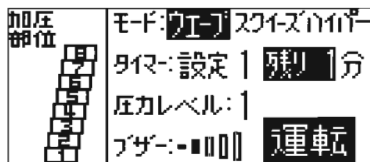
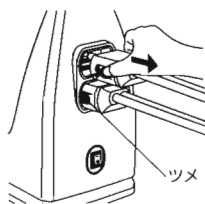
本体は使用中、操作できる所に置いてください。❗
事故につながることがあります。

9. 運転を開始します。
運転/停止ボタンを押すと、運転が開始されます。
(液晶に「運転」と表示されます。)
※安全対策のため、加圧中にヒザまたはヒジを曲げたり、気室を押えたりすると本体が停止する場合があります。
この場合は電源スイッチを「0」(OFF)にして、「1」(ON)にするところから始めてください。

途中で停止したいときは、運転/停止ボタンを押してください。タイマーの設定時間終了時は、ブザーでお知らせします。

※タイマーの残り時間が0分になると、モード、圧力、気室7-8入/切の設定変更はできません。

⚠ 注意

身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師と相談してください。❗
使用を続けた場合、身体に悪影響を及ぼす原因になります。

10. マッサージが終了したら、ブーツ(アームバンド)内の空気がよく抜けてからブーツ(アームバンド)を外してください。エアーソケットからエアープラグを抜くときは、エアープラグのツメを押しながら抜いてください。

11. 使用後は電源スイッチを「0」(OFF)にして(電源ランプが消灯)電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 注意

電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、電源コードを引張らず電源プラグを持って引き抜いてください。⊘

お手入れと保管

⚠ 注意

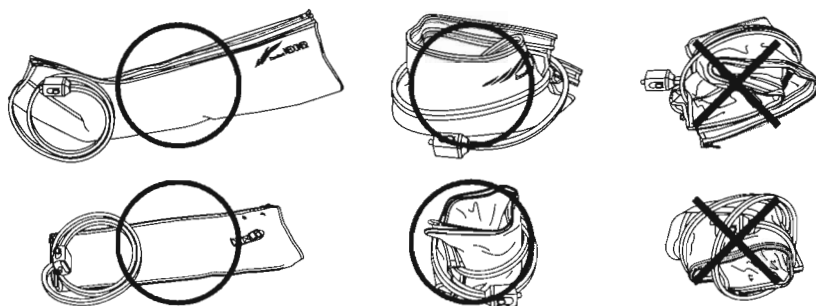
● お手入れの際は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電の原因になります。

お手入れ

● 本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を含ませよくしぼった布で拭いてください。
※水洗い、ベンジン、シンナー等は絶対に使用しないでください。

● ブーツ（アームバンド）の汚れは蒸しタオルで軽く拭き、内側を表にして風通しのよい所で陰干ししてください。
注）本体のエアーソケットおよびブーツ（アームバンド）のエアープラグに取付けられているコネクターは濡らさないでください。故障の原因になります。

保　　管

● 各部の汚れをとった後、直射日光の当たる場所や湿気の高い場所を避けて保管してください。
ブーツ（アームバンド）およびブーツ（アームバンド）に取付けられているホースは、伸ばした状態か、ゆるく巻いた状態で保管してください。

ブーツまたはアームバンドおよび本体の廃棄方法

ブーツまたはアームバンドおよび寿命の終わった本体の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄して下さい。分別のためにブーツ（アームバンド）または本体を分解する場合は、けがをしないように手袋などをして行ってください。

Y-120（Lサイズベルト脚用）
【消耗品】

B-120（ブーツ）
【消耗品】

Z-120（ファスナー交換ベルト）
【消耗品】

YA-120（Lサイズベルト腕用）
【消耗品】

U-120（アームバンド）
【消耗品】

次のような症状がないか点検してください。

- 電源スイッチを「1」(ON) にしてもときどき操作できないことがある。
- 電源コードにキズがある。
- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 動作中に異常な音・振動がある。
- 本体が変形したり、こげくさいにおいがする。
- 電源コードを動かすと、停止する場合がある。

このような症状のときには、直ちに使用を停止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

●本機の改造、分解、修理は、絶対にしないでください。事故の原因になります。

状　　態	原　　因	処　　置
本体を操作できない	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
	電源スイッチを「1」(ON)にしましたか。	電源スイッチを「1」(ON)にします。
	タイマー残り時間が0分になっていませんか。	異常ではありません。0分になると操作できません。
ブーツ（アームバンド）が加圧されない	運転/停止ボタンを押しましたか。	運転/停止ボタンを押します。
	ブーツ（アームバンド）のエアープラグが本体のエアーソケットから抜けていませんか。	ブーツ（アームバンド）のエアープラグを本体のエアーソケットに差し込みます。
	ブーツ（アームバンド）やホースに穴があいていませんか。	新しい物を購入してください。
	ホースが折れていたり、ホースに重い物が載っていませんか。	折れをなくし、重い物を取り除きます。
	ヒザまたはヒジを曲げていませんか。	ヒザまたはヒジを伸ばします。
待機中または運転中にブザー音が発生し、液晶に「異常」が表示される	本体の安全装置が作動しています。（加圧中にヒザまたはヒジを曲げたり、気室を押えたりすると気室の圧力が上昇して安全装置が作動する場合があります。）	電源スイッチを「0」(OFF)にしてから「使用の手順」にしたがって、最初から始めてください。（加圧中はあまり動かないようにしてください。）
運転中、本体の音が変化する。	マイコンでポンプを制御しているためです。	異常ではありません。
運転中、モードや圧力設定、気室7-8入/切を切替えると除圧状態になる。	安全対策のため除圧状態になります。その後、変更された設定で運転が再開されます。	異常ではありません。
除圧中にブーツ（アームバンド）から排気音がする。	ブーツ（アームバンド）に内蔵された電磁弁からの排気音です。	異常ではありません。
運転中にブーツ（アームバンド）から「カチッ」と音がする。	ブーツ（アームバンド）に内蔵された電磁弁の作動音です。	異常ではありません。
液晶表示が乱れている。	外部ノイズの侵入によるものです。	表示は自動的に修正されます。
液晶表示が定期的に短時間消えることがある。	液晶表示の自動修正です。	異常ではありません。

上記の点検後もなお異常がある場合には、直ちに使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

電源電圧(V)	AC100
電源周波数(Hz)	50/60
消費電力(W) 〈待機中〉	65/61(PSE) 50/48(JIS)　〈6/5.5〉
もみ上げ サイクル(秒) 圧力設定「6」 のとき (ブーツ2本) 〈アームバンド〉	ウェーブモード　(約55/59)〈約35/36〉 スクイーズモード　(約43/49)〈約28/29〉 ハイパーモード　(約25/28)〈約15/15〉
タイマー設定 時間(分)	1～30

空気圧設定範囲 (kPa)	3～11
(mmHg)	22.5～82.5
定格時間(分)	30
質量（kg）	本体　7.3 ブーツ　1.2（1本） アームバンド　0.9
寸法（mm）	本　体　323(W)×168(D)×345(H)

※もみ上げサイクルは、設定圧力や体型などにより大きく異なります。

製品に添付されている保証書は、大切に保管してください。保証書についている保証登録カードは表裏の所定欄に、必ずご記入のうえ、至急お送りください。当社の保証登録台帳に登録されます。保証期間はお買い上げの日から1年間。「正常な使用状態」で万一故障が起きた場合には、無料で修理させていただきます。(但し、消耗品は除きます。)

※ブーツおよびアームバンドは消耗品ですので保証の対象外となります。

〈お客様ご相談窓口〉メドー産業株式会社
☎03-3447-5521
受付時間　AM9:00～PM5:00（月～金）

販売元　メドー産業株式会社

本　　社　〒141-0022　東京都品川区東五反田1-11-15（電波ビル）TEL.03（3447）5521（代表）　FAX.03（3447）3570
大阪支店　〒537-0001　大阪市東成区深江北2-10-10　TEL.06（6976）3271（代表）　FAX.06（6976）3841

製造販売元　日東工器株式会社

本社・研究所　〒146-8555　東京都大田区仲池上2-9-4　TEL.03（3755）1111（代表）　FAX.03（3755）5294

LQ05827-1